

平成23年度も魅力的な研修を企画しています。どうぞご期待下さい。

教科教育係 ☎0857-28-2585

教職教育係 ☎0857-28-2586

研修企画課

あなたの研修をサポートします

平成22年度の基本研修が終了しました

経験年数及び年齢に応じた基本研修で、県教育センターが企画するすべての研修が最終回を迎えました。各研修では1年間に取り組んできた研究や実践の発表を行い、教育課題の解決に向けて熱心な協議が行われました。また、一部の研修では学校組織マネジメントの考え方を生かして、将来に向けた教職員としてのキャリアプランについて検討しました。

研修の締めくくりは、諸先輩方をお招きして講話をいただきました。5年経験者研修では前鳥取県教育委員会教育長の中永廣樹氏にご講話をいただき、子ども達の現状や置かれている社会の状況、またその変化などを踏まえながら、柔軟に、怖れず、ダイナミックな教育を行うことが重要というご示唆をいただきました。各講師の先輩方には、それぞれの経験年数に応じた講話で、自信をいただく大変有益な内容でした。

《5年経験者研修で講話を行う中永前教育長》

《学校組織マネジメントの考え方を生かした研修》

《2年次フォローアップ研修で実践発表の様子》



『鳥取県教育のシンクタンク』をめざします

鳥取県教育センター

Tottori Prefectural Education Center



Tottori Prefectural Education Center News

教育センターだより

2011

早春号

WISC-IV 新規購入

1月に新たな検査用具として、WISC-IV(ウイスク・フォー)を購入しました。

現在、子どもの発達課題、認知特性を見極める1つの方法として、WISC-IIIが広く利用されています。WISC-IVは、その改訂版で、今後広く活用されると思われます。

教育センターでは、興味関心のある教職員に実物にふれていただいたり、使い方への支援をしたりしていきたいと考えています。



《模擬検査風景》

より適切な指導・支援を進めるために

～こんな検査用具をご存じですか～

一人一人の指導・支援を進めていくと、よりの確な実態把握が必要だと思われることはありませんか。子どもたちの詳しい状況を把握するために個別検査を利用するのも1つの方法です。これらの結果と様々な情報を組み合わせて、より効果的な指導・支援へ結びつけることが大切です。以下に教育相談課に準備している各種検査用具について目的ごとに紹介します。

各種検査用具の取り扱い等については、教育センター教育相談課にお問い合わせください。

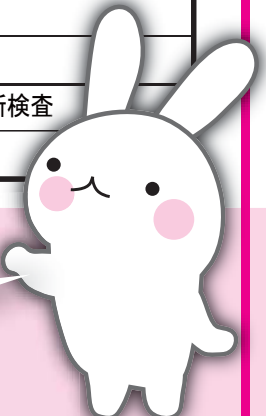
発達の遅れが気になる	○新版K式発達検査
知的な発達の遅れが気になる	○WISC-III・IV知能検査 ○WPPSI幼児用知能検査 ○田中・ビネー式知能検査
学習に必要な力の発達が気になる	○WISC-III・IV知能検査 ○WAIS-III成人知能検査 ○OK-ABC心理・教育アセスメントバッテリー
文字の書き方や図形のとらえ方が気になる	○フロスティック視知覚発達検査
言葉の発達が気になる	○絵画語彙発達検査 ○ITPA言語学習能力診断検査
落ち着きのなさや行動が気になる	○ODN-CAS認知評価システム

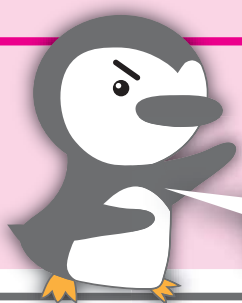
教育相談課

信頼をきずき、子ども・保護者・学校を支援します

教育相談課 ☎0857-28-2322

検査用具にはいろいろな種類があるんだね。





学校教育支援室 ☎0857-28-2352

平成23年度も引き続きアドバイザー派遣事業、スーパーバイザー事業を行います。

学校教育支援室

学校づくり・授業づくりを応援します

A1 言語活動の充実

【発表】米子市立東山中学校 竹崎左千子 教諭
【指導助言】ノートルダム清心女子大学 大滝 一登 准教授

学校全体でいかに「充実」を図るのか

感想 言語活動のとらえ方、「充実」というところに目を向ける必要があるということなど、整然とした内容でよくわかりました。

A2 人間関係づくり

【発表】中部教育局 牧田 悟 指導主事
井上 達也 指導主事
【指導助言】鳥取大学 金子 周平 講師

人間関係を基盤とするプログラムの開発を

感想 SSTで学んだことを授業につなげていくための手立てが必要だと思いました。個別の課題を把握した上で適切なプログラムを用い、個別と全体への支援をしていくことが大切だと感じました。

B1 学級経営・特別支援教育

【発表】鳥取市立散岐小学校 有田 修治 教諭
林 直樹 教諭
【指導助言】IPU 環太平洋大学 住本 克彦 教授

あらゆる手立ては子どもに寄り添うために

感想 職員同士をはじめ、諸機関との連携の重要性を感じた。子ども達一人一人の自己肯定感を養っていきたいと思いました。取り入れられることが多々見つかりました。

B2 学校組織マネジメント

【発表】県立倉吉養護学校 八田 学 校長
県立鳥取工業高校 山内 有明 校長
【指導助言】兵庫教育大学 浅野 良一 教授

何のためのマネジメントなのか

感想 それぞれの校長先生の人間味あふれる発表は大変惹きつけられるものがありました。活力をいただき私たちががんばろうという気持ちを大きくしました。

C1 道徳教育

【発表】北栄町立北条小学校 岡 裕一 教諭
鳥取市立浜坂小学校 有田八千代 教諭
【指導助言】国立教育政策研究所 西野真由美 総括研究官

道徳の時間を楽しんでいますか

感想 子どもの実態からスタートし、こんな子ども達に育てたいという先生方の思いが伝わる発表でした。「善」の心地よさをシャワーのように浴びることが大切だという部分が納得できました。

C2 授業づくり

【発表】八頭町立八東中学校 西川奈緒美 教諭
小出智栄子 教諭
【指導助言】県教育センター 笠見 隆志 指導主事

自校の実践を見つめ抜くこと

感想 教育の土台は人間関係づくりだと改めて思っています。教師と生徒、生徒と生徒、互いに聞く力・話す力を育てていきたいと思えます。

平成22年度スーパーバイザー事業研究発表大会へのご参加ありがとうございました。

1月22日(土) 県教育センターにおいて「平成22年度スーパーバイザー事業研究発表大会」を開催しました。

のべ170人を超えた参加者からは高い課題意識を持った積極的な質問が多く出され、充実した会となりました。発表校の先生方、参加いただいた先生方、ありがとうございました。いただいた感想で当日の様子をお伝えします。

なお、各事業対象校の研究に関しては、県教育センターホームページの [学校教育支援](#) コーナーに掲載しております。



『鳥取県教育のシンクタンク』をめざします

鳥取県教育センター

Tottori Prefectural Education Center

〒680-0941 鳥取市湖山町北5丁目201番地
TEL 0857-28-2321(代表) FAX 0857-28-8513
【URL】 <http://www.torikyo.ed.jp/kyoiku-c/>
【E-Mail】 kyoikucenter@pref.tottori.jp

アクセス

- 鳥取空港から タクシー約5分
- JR「湖山駅」から 徒歩15分、タクシー約5分
- JR「鳥取大学前駅」から 徒歩15分、タクシー約5分
- JR「鳥取駅」から 日ノ丸バス「湖山・賀露」「相生町・湖山・鳥大附属」行き約30分(「湖山」又は「鳥商前」下車)、タクシー約15分

周辺地図



電子黒板など

ICT機器の活用についてお困りの場合はご連絡ください

情報教育課では、授業でのICT機器活用のお手伝いをしています。「電子黒板が入ったんだけど、どうやって使うの?」「授業での効果的な使い方はどうするの?」など、ICT機器の活用でお困りの場合は、お気軽に連絡をしてください。電話での対応の他、来所してのミニ研修、主事派遣による校内研修など、学校のご要望をお聞きしながら、丁寧に対応させていただきます。ちょっとしたICT機器利用によって、今までの授業がより魅力あるものになります。

講師用等メールアドレスの使用期限は3月31日です

今年度発行しました講師等のTorikyo-NETメールアドレスは、3月31日を期限として使用できなくなります。その際には、メールサーバ内に残っているメールも消去されますのでご注意ください。来年度、同様にご使用の際には、4月になってからあらためて申請が必要です。

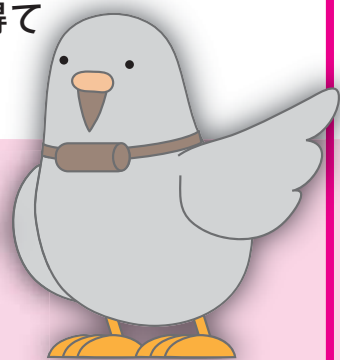


2月5日(土) 県教育センターで土曜セミナー「電子黒板活用」を行いました。休日にもかかわらず、18名の先生方が熱心に受講されました。このセミナーで電子黒板使用のヒントを得ていただきました。

情報教育課

情報教育課 ☎0857-28-2323

ICT(情報通信技術)の活用は、避けて通れない今この時代の課題のひとつです。



情報社会をたくましく生きぬく人づくり/ICTを授業に生かせる人づくり